

ジメチルアニリン $C_6H_5N(CH_3)_2$ (~~N,N-ジメチルアニリン、特級~~) [N,N-ジメチルアニリン、K 8493:1980] 本品は特異なおいがある液体で、新たに蒸留したものは無色であるが次第に赤～赤褐色となる。

凝固点 $1.9^{\circ}C$ 以上

屈折率 $n_D^{20} = 1.556 \sim 1.560$

比重 $0.955 \sim 0.960$

p-ジメチルアミノシンナムアルデヒド 4-ジメチルアミノシンナムアルデヒドを見よ。

4-ジメチルアミノシンナムアルデヒド $C_{11}H_{13}NO$

だいたい色の結晶又は結晶性の粉末で、特異なおいがある。

融点 $140 \sim 142^{\circ}C$

純度試験 溶状本品0.2gをエタノール20mlに溶かすとき、液は透明である。

乾燥減量 0.5% ($105^{\circ}C$, 2時間)。

強熱残分 0.10% 以下 (1g)。

窒素含量 $7.8 \sim 8.1\%$ ($105^{\circ}C$, 2時間, 乾燥後, 窒素定量法)

p-ジメチルアミノシンナムアルデヒド試液 4-ジメチルアミノシンナムアルデヒドのエタノール溶液 (1 → 2,000) 10mlに、用時酢酸 1 mlを加える。

p-ジメチルアミノベンジリデンロダニン $C_{12}H_{12}N_2OS_2$ [K 8495]

p-ジメチルアミノベンズアルデヒド 4-ジメチルアミノベンズアルデヒドを見よ。

4-ジメチルアミノベンズアルデヒド $(CH_3)_2NC_6H_4CHO$ [p-ジメチルアミノベンズアルデヒド、K 8496]

ジメチルグリオキシム $(CH_3)_2C_2(NO)_2$ (~~特級~~) [K 8498]

ジメチルスルホキシド $(CH_3)_2SO$, (~~特級~~) [K 9702]

ジメチルスルホキシド, 紫外吸収スペクトル測定用 $(CH_3)_2SO$ 本品は、無色透明の結晶又は液体で、吸湿性が強く、特異なおいがある。本品の水分は、 0.1% 以下で、凝固点は、 $18.3^{\circ}C$ である。蒸留水を対照として窒素を飽和して直ちにその吸光度を測定するとき、 $270nm$ で 0.20 以下、 $275nm$ で 0.09 以下、 $280nm$ で 0.06 以下及び $300nm$ で 0.015 以下である。また、 $260 \sim 350nm$ で特異な吸収を認めない。

ジメチルホルムアミド N,N-ジメチルホルムアミドを見よ。 ~~$HCON(CH_3)_2$ (N,N-ジメチルホルムアミド、特級)~~

N,N-ジメチルホルムアミド $HCON(CH_3)_2$ [K 8500]

1,2-ジメトキシエタン $C_4H_{10}O_2$ 本品は、無色透明の液体でジエチルエーテルようのおいがあり、水、エタノール及び炭化水素系の溶媒に溶けやすい。

含量 本品は、1,2-ジメトキシエタン ($C_4H_{10}O_2$) 99.0% 以上を含む。

沸点 $82 \sim 83^{\circ}C$

定量法 本品につき、次の操作条件でガスクロマトグラフィーを行い、主ピークの面積百分率を求める。

検出器 水素炎イオン化検出器

操作条件

カラム充てん剤

液相 担体に対して10%のポリエチレングリコール20M

担体 177~250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土

カラム管 内径3~4mm,長さ2mのガラス管又はステンレス管

カラム温度 70~80 $^{\circ}$ Cの一定温度

キャリアーガス及び流量 ~~ヘリウムを用いる。~~

流量 50ml/分の一定量。

弱塩基性陰イオン交換樹脂 陰イオン交換樹脂,弱塩基性を見よ。

弱塩基性ジエチルアミノエチル・架橋セルロース陰イオン交換体 DEAE・架橋セルロース陰イオン交換体(-O \cdot C₂H₄ \cdot N(C₂H₅)₂型),弱塩基性を見よ。

弱酸性陽イオン交換樹脂(微粒) 陽イオン交換樹脂,弱酸性(微粒)を見よ。

臭化カリウム KBr ~~(特級)~~ [K 8506]

臭化カリウム,赤外吸収スペクトル測定用 KBr臭化カリウム単結晶又は臭化カリウムを砕き,標準網ふるい74 μ mを通過したものを集め,120 $^{\circ}$ Cで10時間又は500 $^{\circ}$ Cで5時間乾燥した粉末である。これを用いて成形した錠剤の赤外吸収スペクトルは,特異な吸収を認めない。

臭化シアン試液,チアミン定量用 氷冷した水100mlを量り,臭素2mlを加え,激しく振り混ぜた後,氷冷したチオシアン酸カリウム溶液(1 \rightarrow 10)を臭素の色がまさに脱色するまで滴加する。本液は,ドラフト中で調製し,1か月以内に用いる。本液の蒸気は,極めて有毒であるから取扱いに際し,吸入しないように注意する。

臭化水銀(II) HgBr₂ ~~(臭化水銀(II),特級)~~ [K 8513]

臭化第二水銀 臭化水銀(II)を見よ。

臭化第二水銀紙 臭化水銀(II)5gを量り,エタノール100mlを加え,穏やかに加熱して溶かす。この液にクロマトグラフィー用ろ紙を幅約3cm,長さ約10cmに切ったものを浸し,ときどき揺り動かしながら約1時間暗所に放置した後,取り出し,暗所で水平に保って自然乾燥し,直径約18mmの円形に切り,褐色瓶に入れ,密栓して暗所に保存する。呈色を試験する部分に手を触れてはならない。

臭化ナトリウム NaBr ~~(特級)~~ [K 8514]

重クロム酸カリウム 二クロム酸カリウムを見よ。

重クロム酸カリウム(標準試薬) ~~二クロム酸カリウム(標準試薬)を見よ。K₂Cr₂O₇(標準試薬)~~

シュウ酸 ~~シュウ酸2水和物を見よ。HOOC \cdot COOH \cdot 2H₂O (シュウ酸(2水和物),特級)~~

シュウ酸アンモニウム ~~シュウ酸アンモニウム1水和物を見よ。~~

~~H₂NO \cdot COONH₄ \cdot H₂O (シュウ酸アンモニウム(1水和物),特級)~~

シュウ酸アンモニウム1水和物 H₂NO \cdot COONH₄ \cdot H₂O [シュウ酸アンモニウム1水和物, K 8521]

シュウ酸ナトリウム(標準試薬) NaO \cdot CO \cdot COONa [容量分析用標準物質, (シュウ酸ナトリウム, K 8005)特級]

シュウ酸 2 水和物 $\text{HOCCOOH} \cdot 2 \text{H}_2\text{O}$ [しゅう酸二水和物, K 8519]

臭素 Br_2 [~~(特級)~~] [K 8529]

臭素・塩酸試液 臭素・臭化カリウム試液 1 ml を量り, 無ヒ素塩酸 100 ml を加える。

臭素酸カリウム KBrO_3 [~~(特級)~~] [K 8530]

臭素酸カリウム・臭化カリウム試液 臭素酸カリウム 1.4 g 及び臭化カリウム 8.1 g を量り, 合わせ, 水を加えて溶かして 100 ml とする。

臭素試液 臭素の飽和溶液である。栓にワセリンを塗布した共栓瓶に臭素 2 ~ 3 ml を入れ, 冷水 100 ml を加え, 密栓して振り混ぜ, 水層を用いる。遮光してなるべく冷所に保存する。

臭素・臭化カリウム試液 臭素 30 g 及び臭化カリウム 30 g を量り, 合わせ, 水を加えて溶かして 100 ml とする。

酒石酸 L-酒石酸 を見よ。 $\text{HOOCCH(OH)CH(OH)COOH}$ [~~(特級)~~]

L-酒石酸 $\text{HOOCCH(OH)CH(OH)COOH}$ [L-(+)-酒石酸, K 8532]

酒石酸アンモニウム $\text{H}_4\text{NOOCCH(OH)CH(OH)COONH}_4$ [~~(特級)~~] [(+)-酒石酸アンモニウム, K 8534]

酒石酸カリウムナトリウム 酒石酸カリウムナトリウム 4 水和物 を見よ。
 $\text{NaOOCCH(OH)CH(OH)COOK} \cdot 4\text{H}_2\text{O}$ [~~酒石酸ナトリウムカリウム四水和物 (ロッシェル塩, モニエット塩), (特級)~~]

酒石酸カリウムナトリウム 4 水和物 $\text{NaOOCCH(OH)CH(OH)COOK} \cdot 4\text{H}_2\text{O}$ [(+)-酒石酸ナトリウムカリウム四水和物, K 8536]

酒石酸水素ナトリウム 酒石酸水素ナトリウム 1 水和物 を見よ。

$\text{HOOCCH(OH)CH(OH)COONa} \cdot \text{H}_2\text{O}$ [~~酒石酸水素ナトリウム一水和物, (特級)~~]

酒石酸水素ナトリウム 1 水和物 $\text{HOOCCH(OH)CH(OH)COONa} \cdot \text{H}_2\text{O}$ [(+)-酒石酸水素ナトリウム一水和物, K 8538]

酒石酸ナトリウム $\text{NaOOCCH(OH)CH(OH)COONa} \cdot 2\text{H}_2\text{O}$ [~~酒石酸ナトリウム二水和物, (特級)~~] 酒石酸ナトリウム 2 水和物 を見よ。

酒石酸ナトリウム 2 水和物 $\text{NaOOCCH(OH)CH(OH)COONa} \cdot 2\text{H}_2\text{O}$ [(+)-酒石酸ナトリウム二水和物, K 8540]

硝酸 HNO_3 [~~硝酸 (比重約 1.42), (特級)~~] [K 8541]

硝酸, 希 硝酸 10.5 ml を量り, 水を加えて 100 ml とする。(10%)

硝酸アンモニウム NH_4NO_3 [~~(特級)~~] [K 8545]

硝酸カリウム KNO_3 [~~(特級)~~] [K 8548]

硝酸銀 AgNO_3 [~~(特級)~~] [K 8550]

硝酸銀アンモニア試液 硝酸銀 1 g を量り, 水 20 ml を加えて溶かし, かき混ぜながら, 沈殿がほとんど溶けるまでアンモニア試液を滴加し, ろ過する。遮光した容器に密栓して保存する。

硝酸コバルト 硝酸コバルト (II) 6 水和物 を見よ。 $\text{Co(NO}_3)_2 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$ [~~硝酸コバルト (II) (六水和物), (硝酸コバルト), (特級)~~]

硝酸コバルト (II) 6 水和物 $\text{Co(NO}_3)_2 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$ [硝酸コバルト (II) 六水和物, K 8552]

硝酸セリウムアンモニウム 硝酸セリウム (IV) アンモニウムを見よ。 $(\text{NH}_4)_2\text{Ce}(\text{NO}_3)_6$ 。〔硝酸セリウム(IV)アンモニウム、特級〕

硝酸セリウム (IV) アンモニウム $\text{Ce}(\text{NH}_4)_2(\text{NO}_3)_6$ 〔硝酸二アンモニウムセリウム (IV)、K 8556〕

硝酸第二水銀試液 黄色酸化第二水銀40gを量り、硝酸32ml及び水15mlを加えて溶かす。遮光した共栓瓶に保存する。(4 mol/L)

硝酸鉛 硝酸鉛 (II) を見よ。

硝酸鉛 (II) $\text{Pb}(\text{NO}_3)_2$ 〔K 8563〕

硝酸パラジウム $\text{Pd}(\text{NO}_3)_2$ (特級)

硝酸パラジウム試液 硝酸パラジウム0.108gに硝酸(1→2)10mlを加え、水を加えて正確に500mlとする。この溶液20mlを正確にとり、水を加えて正確に200mlとする。

硝酸ビスマス 硝酸ビスマス 5水和物を見よ。 $\text{Bi}(\text{NO}_3)_3 \cdot 5\text{H}_2\text{O}$ (特級)

硝酸ビスマス 5水和物 $\text{Bi}(\text{NO}_3)_3 \cdot 5\text{H}_2\text{O}$ 〔硝酸ビスマス五水和物 K 8566〕

硝酸ビスマス試液 硝酸ビスマス 5gを量り、水25ml及び酢酸25mlを加えて溶かし、更に水を加えて250mlとする。

硝酸マグネシウム 硝酸マグネシウム 6水和物を見よ。 $\text{Mg}(\text{NO}_3)_2 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$ (特級)

硝酸マグネシウム 6水和物 $\text{Mg}(\text{NO}_3)_2 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$ 〔硝酸マグネシウム六水和物、K 8567〕

蒸留水 日本薬局方精製水を用いる。

ジラル試薬 P $\text{C}_7\text{H}_{10}\text{N}_3\text{OCl}[\text{C}_5\text{H}_5\text{NCH}_2\text{CONHNH}_2]\text{Cl}$ 本品は、白～淡黄だいたい色の粉末で、わずかに特異なおいがあり、水に溶けやすい。また、メタノールにやや溶けにくく、エタノールにほとんど溶けない。

含量 本品は、塩化ピリジニウムアセトヒドライド ($\text{C}_7\text{H}_{10}\text{N}_3\text{OCl}$) 塩化1-(2-ヒドラジノ-2-オキシエチル)ピリジウム ($\text{C}_5\text{H}_5\text{NCH}_2\text{CONHNH}_2$) 95.0%以上を含む。

融点 200～203℃

定量法 105℃で恒量になるまで乾燥した本品約0.3gを精密に量り、水50mlを加えて溶かし、硝酸(1→3) 3mlを加え、0.1mol/L硝酸銀溶液で滴定する。終点の確認は、電位差計を用いる。別に空試験を行い、補正する。

0.1mol/L硝酸銀溶液 1 ml = 18.76g $\text{C}_7\text{H}_{10}\text{N}_3\text{OCl}$

シリカゲル 日本工業規格包装用シリカゲル乾燥剤A形を用いる。

シリカゲル、液体クロマトグラフィー用 液体クロマトグラフィー用に製造したもの。

シリカゲル、薄層クロマトグラフィー用 シリカゲルを薄層クロマトグラフィー用に製造した上質のものを用いる。

シリカゲル、薄層クロマトグラフィー用 (蛍光剤入り) 薄層クロマトグラフィー用に製造したシリカゲルに蛍光剤を添加したものを用いる。

シリコーン樹脂 淡灰色半透明の粘性の液又はペースト状の物質で、においがほとんどない。

屈折率及び粘度 本品15gをソックスレー抽出器に入れ、四塩化炭素150mlで3時間抽出し、抽出液を水浴上で蒸発して得た液体の動粘度は $100\sim 1,100\text{mm}^2/\text{s}$ (25℃)、屈折率は $1.400\sim 1.410$ (25℃)である。

比重 0.98~1.02

乾燥減量 屈折率及び粘度の項の抽出残留物につき0.45~2.25g (100℃, 1時間)

シリコン樹脂 シリコーン樹脂を見よ。

シリコーン油 本品は、無色澄明の液で、においが無い。

動粘度 $50\sim 100\text{mm}^2/\text{s}$

シリル化試液 *N,O*-ビス(トリメチルシリル)アセトアミド3mlを量り、ジメチルホルムアミド2mlを加えて溶かす。用時調製する。

水酸化カリウム KOH ~~(特級)~~ [K 8574]

水酸化カリウム試液, エタノール製 水酸化カリウム35gを量り、水20mlを加えて溶かし、エタノールを加えて1,000mlとする。密栓して保存する。

10%水酸化カリウム試液, エタノール製 水酸化カリウム10gを量り、エタノールを加えて溶かして100mlとする。用時調製する。

35%水酸化カリウム試液, メタノール製 水酸化カリウム35gを量り、水25mlを加えて溶かし、メタノールを加えて100mlとする。

水酸化カルシウム $\text{Ca}(\text{OH})_2$ ~~(+級)~~ [K 8575]

水酸化カルシウム, pH測定用 $\text{Ca}(\text{OH})_2$ ~~(+級)~~ [水酸化カルシウム, ~~(+級)~~ K 8575] 23~27℃で得た飽和溶液で25℃において得るpHが12.45のものを用いる。

水酸化カルシウム試液 酸化カルシウム10gを量り、新たに煮沸し冷却した水40mlを加えてしばらく放置し、更に新たに煮沸し冷却した水1,000mlを加え密栓して振り混ぜた後静置する。上澄液を傾斜して除き、更に新たに煮沸し冷却した水1,000mlを加え、密栓し、時々強く振り混ぜながら1時間放置する。用時上澄液を傾斜又はろ過して用いる。

水酸化ナトリウム NaOH ~~(特級)~~ [K 8576]

水酸化ナトリウム試液 水酸化ナトリウム4.3gを水に溶かし、100mlとする。ポリエチレン瓶に保存する。

水酸化ナトリウム試液, 0.5mol/l ~~(+L)~~ 水酸化ナトリウム22gを水に溶かし、1,000mlとする。ポリエチレン瓶に保存する。

水酸化ナトリウム試液, 希 水酸化ナトリウム4.3gを新たに煮沸して冷却した水に溶かし、1,000mlとする。用時調製する(0.1mol/l)。

5%水酸化ナトリウム試液, メタノール製 水酸化ナトリウム5gを量り、水5mlを加えて溶かし、メタノールを加えて100mlとして静置した後、上澄液を用いる。

水酸化バリウム 水酸化バリウム8水和物を見よ。 $\text{Ba}(\text{OH})_2 \cdot 8\text{H}_2\text{O}$ ~~(特級)~~

水酸化バリウム8水和物 $\text{Ba}(\text{OH})_2 \cdot 8\text{H}_2\text{O}$ [水酸化バリウム八水和物, K 8577]

水素 H_2 含量99.99vol%以上のものを用いる。

水分測定用塩化カルシウム 塩化カルシウム, 水分測定用を見よ。

水分測定用試液 ヨウ素63gを量り、水分測定用ピリジン100mlを加えて溶かし、氷冷し、乾燥した二酸化硫黄をその増量が32.3gに達するまで通した後、水分測定用

メタノールを加えて500mlとし、24時間以上放置した後用いる。日時の経過とともに変化するので用時標定する。遮光して湿気を避け、冷所に保存する。

標定 水分測定法の操作法に従い、水分測定用メタノール25mlを乾燥滴定フラスコに入れ、水分測定用試液を終点まで注意して加える。次に水約50mgを精密に量って速やかに加え、湿気を遮り、水分測定用試液で終点まで滴定する。水分測定用試液の1mlに対応する水(H₂O)のmg数fを次式によって求める。

(H₂O)の採取量(mg)

$$f = \frac{\text{水に対する水分測定用試液の滴定量 (ml)}}{\text{水分測定用試液の濃度 (mg/ml)}}$$

水に対する水分測定用試液の滴定量(ml)

水分測定用エチレングリコール エチレングリコール，水分測定用を見よ。

水分測定用ピリジン ピリジン，水分測定用を見よ。

水分測定用メタノール メタノール，水分測定用を見よ。

水溶性アナトー用塩化第一スズ・塩酸試液 塩化第一スズ・塩酸試液，水溶性アナトー用を見よ。

スチレン-ジビニルベンゼン系吸着用樹脂 吸着剤用に製造された多孔性樹脂。

ステアリン酸 C₁₈H₃₆O₂ (特級) [K 8585]

スルファニル酸 NH₂C₆H₄SO₃H (特級) [K 8586]

スルファニル酸アゾG塩色素 C₁₆H₉N₂Na₃O₁₀S₃ 本品は、7-ヒドロキシ-8-(4-スルホフェニルアゾ)-1,3-ナフタレンスルホン酸三ナトリウム塩で、だいたい赤色の粉末である。

比吸光度 $E_{1\text{cm}}^{1\%}$ (475nm付近の極大吸収部) = 303以上

本品を減圧デシケーター中で24時間乾燥した後、その0.0100g(10.0mg)を量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて溶かして正確に100mlとし、これをA液とする。A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとし、吸光度を測定する。

純度試験 他の色素 A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとする。この液20μlを量り、成分規格・保存基準各条の項の食用黄色5号中の純度試験(5)に規定する操作条件で液体クロマトグラフィーを行うとき、一つのピークのみを認める。

スルファニル酸アゾR塩色素 C₁₆H₉N₂Na₃O₁₀S₃ 本品は、3-ヒドロキシ-4-(4-スルホフェニルアゾ)-2,7-ナフタレンスルホン酸三ナトリウム塩で、だいたい赤色の粉末である。

比吸光度 $E_{1\text{cm}}^{1\%}$ (488nm付近の極大吸収部) = 432以上

本品を減圧デシケーター中で24時間乾燥した後、その0.0100g(10.0mg)を量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて溶かして正確に100mlとし、これをA液とする。A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとし、吸光度を測定する。

純度試験 他の色素 A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとする。この液20μlを量り、成分規格・保存基準各条の項の食用黄色5号中の純度試験(5)に規定する操作条件で液体クロマトグラフ

ィーを行うとき、一つのピークのみを認める。

スルファニル酸アゾβ-ナフトール色素 $C_{16}H_{11}N_2NaO_4S$ 本品は、4-(2-ヒドロキシ-1-ナフチルアゾ)ペンゼンスルホン酸一ナトリウム塩で、だいたい赤色の粉末である。

比吸光度 $E_{1cm}^{1\%}$ (484nm付近の極大吸収部) = 640以上

本品を減圧デシケーター中で24時間乾燥した後、その0.0100g±0.0005gを量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて溶かして正確に100mlとし、これをA液とする。A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとし、吸光度を測定する。

純度試験 他の色素 A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとする。この液20μlを量り、成分規格・保存基準各条の項の食用黄色5号中の純度試験(5)に規定する操作条件で液体クロマトグラフィーを行うとき、一つのピークのみを認める。

スルファニル酸試液 スルファニル酸0.50gに希塩酸20mlを加え、加温して溶かし、水を加えて100mlとする。

スルファミン酸アンモニウム アミド硫酸アンモニウムを見よ。

青色リトマス紙 リトマス紙、青色を見よ。

精製塩酸 塩酸、精製を見よ。

精製水 日本薬局方精製水を用いる。

ゼオライト、ガスクロマトグラフィー用 天然又は合成ゼオライトをガスクロマトグラフィー用に製造したものをを用いる。

赤外吸収スペクトル測定用臭化カリウム 臭化カリウム、赤外吸収スペクトル測定用を見よ。

赤色リトマス紙 リトマス紙、赤色を見よ。

石油エーテル ~~(特級)~~ [K 8593]

石油エーテル、ビタミンA測定用 石油エーテルを蒸留した40.0~60.0℃の留分である。

石油ベンジン ~~(特級)~~ [K 8594]

赤リン P ~~(赤りん、1級)~~ [赤りん、K 8595:1961]

本品は暗赤色の粉末で、においはない。

含量 98.0%以上

純度試験 遊離リン酸 H_3PO_4 として0.5%以下

本品約5gを精密に量り、20%塩化ナトリウム溶液10mlを加えて良くかき混ぜる。更に20%塩化ナトリウム溶液50mlを加え、1時間放置し、ろ紙上の残留物を20%塩化ナトリウム溶液10mlずつで3回洗う。洗液とろ液を合わせ、0.1mol/L水酸化ナトリウム溶液で滴定する(指示薬 チモールブルー試液)

0.1mol/L水酸化ナトリウム溶液 1 ml = 4.900g H_3PO_4

定量法 本品約0.5gを精密に量り、臭素を飽和した硝酸30mlを加えて1時間放置する。後、臭素の色が無くなるまで水浴上で加熱し、冷後塩素酸カリウム1gと塩酸10mlを加えて10分間放置する。水浴上で徐々に加熱して約5mlになるまで

濃縮し、水200mlを加えて少し加温後冷却する。ろ過し、ろ紙上の残留物を水で洗い、洗液をろ液に合わせる。これに水を加えて正確に500mlとする。その25mlを正確に量り、クエン酸0.5gを加え、アンモニア水で中和し（指示薬 ブロムチモールブルー試液）、これにマグネシア試液10mlをかき混ぜながら徐々に加える。これに、アンモニア水（1→10）を滴下して沈殿を完全に生成させる。これに、アンモニア水を全容量の約1/10量加え、かき混ぜた後3時間放置する。ろ過後、沈殿をアンモニア水（1→10）で洗った後、加熱し、冷後、その質量を精密に量る。

赤リンの質量をx gとすると

$$x = \frac{\text{Mg}_2\text{P}_2\text{O}_7 \text{ (g)} \cdot 0.2783 \times 20}{100 - \text{遊離リン酸量(g)} \times 0.3161} \times \text{試料の採取量(g)}$$

ゼラチン 日本薬局方ゼラチンを用いる。

ゼラチン試液 ゼラチン1gを水50mlに静かに加熱しながら溶かし、必要があればろ過する。用時調製する。

ゼラチン製ペプトン ペプトン、ゼラチン製を見よ。

全多孔性陰イオン交換体 イオンクロマトグラフ用に製造したもの。

ソーダ石灰 [~~ソーダ石灰（ソーダライム）~~、1級二酸化炭素吸収用、K 8603]

D-ソルビトール C₆H₁₄O₆ 「D-ソルビトール」

D-ソルビトール、定量用 C₆H₁₄O₆ 「D-ソルビトール」80gを量り、500mlのフラスコに入れ、90%メタノール220mlを加え、還流冷却器を付け、水浴で加温して溶かし冷後、500mlのビーカーに移し、種晶として「D-ソルビトール」40mgを加え、混和し、72時間静置する。析出した結晶を吸引ろ過し、メタノール50mlで洗う。次に得られた再結晶品40gを量り、90%メタノール110mlを加え、以下先の操作を繰り返し、再々結晶品を得る。ただし、種晶には80℃で5時間減圧乾燥した再結晶品を用いる。得られた再々結晶品を80℃で5時間減圧乾燥する。

ダイズ製ペプトン ペプトン、ダイズ製を見よ。

脱脂粉乳 生乳、牛乳などの乳脂肪分を除去したものからほとんどすべての水分を除去し、粉末状にしたもの。

脱脂綿 日本薬局方脱脂綿を用いる。

タングステン酸ナトリウム タングステン（VI）酸ナトリウム 2水和物を見よ。

タングステン（VI）酸ナトリウム 2水和物 Na₂WO₄ · 2H₂O [タングステン（VI）酸ナトリウム 2水和物、K 8612]

炭酸アンモニウム ~~（特級）~~ [K 8613]

炭酸アンモニウム試液 炭酸アンモニウム20gを量り、アンモニア試液20ml及び水を加えて溶かして100mlとする。

炭酸カリウム、無水 K₂CO₃ ~~〔炭酸カリウム、特級〕~~ K 8615]

炭酸カルシウム CaCO₃ ~~（特級）~~ [K 8617]

炭酸水素ナトリウム NaHCO₃ ~~〔炭酸水素ナトリウム（重炭酸ナトリウム）、特級〕~~ [K 8622]

炭酸水素ナトリウム, pH測定用 NaHCO_3 [~~炭酸水素ナトリウム (重炭酸ナトリウム)~~, pH標準液測定用, K 8622]

炭酸ナトリウム 炭酸ナトリウム10水和物を見よ。

~~$\text{Na}_2\text{CO}_3 \cdot 10\text{H}_2\text{O}$ [炭酸ナトリウム (10水塩), 特級]~~

炭酸ナトリウム10水和物 $\text{Na}_2\text{CO}_3 \cdot 10\text{H}_2\text{O}$ [炭酸ナトリウム10水和物, K 8624]

炭酸ナトリウム, pH測定用 Na_2CO_3 [~~炭酸ナトリウム (無水)~~, pH標準液測定用, K 8625]

炭酸ナトリウム (標準試薬) Na_2CO_3 [~~炭酸ナトリウム (無水)~~, 標準試薬] [容量分析用標準物質, K 8005]

炭酸ナトリウム, 無水 Na_2CO_3 [炭酸ナトリウム, K 8625] [~~(無水)~~, 特級]

炭酸マグネシウム 日本薬局方炭酸マグネシウムを用いる。

タンニン酸 $\text{C}_{14}\text{H}_{10}\text{O}_9 \cdot n\text{H}_2\text{O}$ [~~(特級)~~ [K 8629]

タンニン酸・酢酸試液 タンニン酸0.010g(10mg)を量り, 酢酸80mlを加えて振り混ぜて溶かし, リン酸32mlを加える。用時調製する。

チアミン定量用臭化シアン試液 臭化シアン試液, チアミン定量用を見よ。

チオシアン酸アンモニウム NH_4SCN [~~(特級)~~ [K 9000]

チオシアン酸アンモニウム・硝酸コバルト試液 チオシアン酸アンモニウム17.4 g及び硝酸コバルト2.8gを量り, 合わせ, 水を加えて溶かして100mlとする。

チオシアン酸カリウム KSCN [~~(特級)~~ [K 9001]

チオ硫酸ナトリウム チオ硫酸ナトリウム5水和物を見よ。

チオ硫酸ナトリウム5水和物 $\text{Na}_2\text{S}_2\text{O}_3 \cdot 5\text{H}_2\text{O}$ [チオ硫酸ナトリウム5水和物, K 8637]

窒素 N_2 日本薬局方窒素を用いる。

チモール $\text{C}_{10}\text{H}_{14}\text{O}$ 日本薬局方チモールを用いる。

チモールフタレイン $\text{C}_{28}\text{H}_{30}\text{O}_4$ [~~(特級)~~ [K 8642]

チモールフタレイン試液 チモールフタレイン0.1gを量り, エタノール100mlを加えて溶かし, 必要があればろ過する。

チモールブルー $\text{C}_{27}\text{H}_{30}\text{O}_5\text{S}$ [~~(特級)~~ [K 8643]

チモールブルー試液 チモールブルー0.1gを量り, エタノール100mlを加えて溶かし, 必要があればろ過する。

チモール・硫酸試液 チモール0.5gを量り, 硫酸5mlを加えて溶かし, エタノールを加えて100mlとする。

中和エタノール エタノール, 中和を見よ。

DEAE-架橋セルロース陰イオン交換体 ($-\text{O} \cdot \text{C}_2\text{H}_4 \cdot \text{N}(\text{C}_2\text{H}_5)_2$ 型), 弱塩基性 多孔性を有するセルロースを架橋して強度をもたせ, ジエチルアミノエチル基を導入した弱塩基性陰イオン交換体を用いる。

定量用 L-アスコルビン酸 2-グルコシド アスコルビン酸 2-グルコシド, 定量用を見よ。

定量用 β -シクロデキストリン β -シクロデキストリン, 定量用を見よ。

定量用 D-ソルビトール D-ソルビトール, 定量用を見よ。

定量用 *d*-α-トコフェロール *d*-α-トコフェロール, 定量用を見よ。

定量用 *d*-β-トコフェロール *d*-β-トコフェロール, 定量用を見よ。

定量用 *d*-γ-トコフェロール *d*-γ-トコフェロール, 定量用を見よ。

定量用 *d*-δ-トコフェロール *d*-δ-トコフェロール, 定量用を見よ。

定量用部分加水分解サポニン 部分加水分解サポニン, 定量用を見よ。

定量用マルトール マルトール, 定量用を見よ。

定量用 D-マンニトール D-マンニトール, 定量用を見よ。

定量用ヨウ化イソプロピル ヨウ化イソプロピル, 定量用を見よ。

定量用ヨウ化メチル ヨウ化メチル, 定量用を見よ。

鉄試験用アスコルビン酸 アスコルビン酸, 鉄試験用を見よ。

デキストリン ~~デキストリン水和物を見よ。 $(C_6H_{10}O_5)_n \cdot xH_2O$ (特級)~~

デキストリン水和物 $(C_6H_{10}O_5)_n \cdot nH_2O$ [K 8646]

デソキシコール酸ナトリウム $C_{24}H_{39}NaO_4$ 本品は白色の結晶性の粉末で、
いはない。

確認試験 本品を乾燥し、赤外吸収スペクトル測定法の臭化カリウム錠剤法により測定するとき、波数 $3,400\text{ cm}^{-1}$, $2,940\text{ cm}^{-1}$, $1,562\text{ cm}^{-1}$ 及び $1,408\text{ cm}^{-1}$ 付近に吸収帯を認める。

純度試験 類縁物質 本品 0.10 g をメタノール 10 ml に溶かし、試料溶液とする。この液 1 ml を正確に量り、メタノールを加えて正確に 100 ml とし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフィーを行う。試料溶液及び標準溶液 $10\text{ }\mu\text{ l}$ ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次に1-ブタノール/メタノール/酢酸混液 (80:40:1) を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに硫酸を均等に噴霧し、 105°C で10分間加熱するとき、試料溶液から得た主スポット以外のスポットは、標準溶液から得たスポットより濃くない。

鉄片 Fe 片状のものを用いる。Fe 97.7%以上。磁石により吸引される。

テトラサイクリン $C_{22}H_{24}N_2O_8$ 日本薬局方テトラサイクリンを用いる。

テトラヒドロホウ酸ナトリウム $NaBH_4$ (原子吸光分析用)

テトラヒドロホウ酸ナトリウム試液 テトラヒドロホウ酸ナトリウム 5 g に 0.1 mol/l の水酸化ナトリウム 500 ml を加えて溶かす。

テトラベス・クエン酸試液 4,4'-テトラメチルジアミノジフェニルメタン 0.25 g 及びクエン酸 1 g を量り、合わせ、水 500 ml を加えて溶かす。

4,4'-テトラメチルジアミノジフェニルメタン $C_{17}H_{22}N_2$ 本品は、白～帯青白色の光輝ある葉状結晶で、水に溶けにくく、ジエチルエーテル、エタノール及びベンゼンに溶ける。

融点 $90\sim 91^\circ\text{C}$

デバルダ合金 ~~(特級)~~ [K 8653]

デンプン ~~(でんぷん, 特級)~~ [K 8658]

デンプン試液 デンプン 1 g を量り、冷水 10 ml を加えてよくすり混ぜ、これを熱湯 200 ml 中にかき混ぜながら徐々に加え、液が半透明となるまで煮沸し、放冷し、

静置した後，上澄液を用いる。用時調製する。

銅片 Cu ~~← (銅，特級) K 8660~~ 片状のものを用いる。

Cu-PAN 1-(2-ピリジルアゾ)-2-ナフトール（遊離酸）1g及びエチレンジアミン四酢酸二ナトリウム銅~~四~~水和物11.1gを混合して調製する。灰だいたい黄色，灰赤褐色又は淡灰紫色の粉末である。

吸光度 本品0.50gをとり，~~薄めた~~ジオキサン（1→2）に溶かし，正確に50mlとする。この液1mlを正確に量り，メタノールを加えて正確に100mlとする。この液につき，水を対照とし，紫外可視吸光度測定法により試験を行うとき，波長470nmにおける吸光度は0.48以上である。

純度試験 溶状 本品0.5gを~~薄めた~~ジオキサン（1→2）50mlに溶かすとき，液は黄褐色，澄明である。

Cu-PAN試液 Cu-PAN 1gを~~薄めた~~ジオキサン（1→2）100mlに溶かす。

d-α-トコフェロール，定量用 C₂₉H₅₀O₂ 本品は，淡黄色の粘りかつ粘稠な液体である。

~~含量 本品は，d-α-トコフェロール（C₂₉H₅₀O₂）98.5%以上を含む。~~

確認試験 本品約5mgを精密に量り，無水エタノールを加えて溶かして正確に10mlとする。この液1mlを正確に採りとり，~~さらに更に~~無水エタノールを加えて正確に10mlとした液の吸光度を測定するとき，波長292nm付近に極大吸収部がある。

比吸光度 $E_{1\text{cm}}^{1\%}$ （292nm付近の極大吸収部）= 67～82

本品約5mgを精密に量り，無水エタノールを加えて溶かして正確に10mlとする。この液1mlを正確に採りとり，~~さらに更に~~無水エタノールを加えて正確に10mlとした液の吸光度を測定する。

~~定量法純度試験 類似物質 本品約0.05g50mgを精密に量り，n-ヘキサンを加えて溶かし，正確に100mlとし，検液とする。この液1.5mlを正確に量りヘキサンを加えて正確に100mlとし，比較液とする。検液及び比較液20μlにつき，次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い，ピーク面積を自動積分法により測定するとき，検液の主ピーク以外のピークの合計面積は，比較液の主ピーク面積より大きくない。ただし，面積測定範囲は，主ピークの保持時間の約2倍までとする。~~

~~この検液20μlを採りとり，次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い，主ピークの保持時間の約2倍の範囲について，ピーク面積を自動積分法により測定し，総面積に対する主ピークの面積比を計算する。~~

操作条件

検出器 紫外部吸収検出器吸光光度計（測定波長 292nm）

カラム 内径3～6mm，長さ15～25cmのステンレス管

カラム充てん剤 5～10μmの液体クロマトグラフィー用シリカゲル

カラム温度 室温（一定）

移動相 n-ヘキサン/2-プロパノールイソプロピルアルコール混液（200：1）

流量 主ピークが約5分後に現れるの保持時間が約5分になるように調整する。

d-β-トコフェロール、定量用 $C_{28}H_{48}O_2$ 本品は、淡黄色の粘りある粘潤な液体である。

~~含量 本品は、d-β-トコフェロール ($C_{28}H_{48}O_2$) 98.5%以上を含む。~~

確認試験 本品約 5 mg を精密に量り、無水エタノールを加えて溶かし正確に 10 ml とする。この液 1 ml を正確に採りとり、さらに更に無水エタノールを加えて正確に 10 ml とした液の吸光度を測定するとき、波長 296 nm 付近に極大吸収部がある。

比吸光度 $E_{1\text{cm}}^{1\%}$ (296 nm 付近の極大吸収部) = 77~95

本品約 5 mg を精密に量り、無水エタノールを加えて溶かして正確に 10 ml とする。この液 1 ml を正確に採りとり、さらに更に無水エタノールを加えて正確に 10 ml とした液の吸光度を測定する。

定量法類縁物質 本品約 0.05 g (50 mg) を精密に量り、n-ヘキサンを加えて溶かして正確に 100 ml とし、検液とする。この液 1.5 ml を正確に量りヘキサンを加えて正確に 100 ml とし、比較液とする。検液及び比較液 20 μ l につき、次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い、ピーク面積を測定するとき、検液の主ピーク以外のピークの合計面積は、比較液の主ピーク面積より大きくない。ただし、面積測定範囲は、主ピークの保持時間の約 2 倍までとする。この検液 20 μ l を採りとり、次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い、主ピークの保持時間の約 2 倍の範囲について、ピーク面積を自動積分法により測定し、総面積に対する主ピークの面積比を計算する。

操作条件

検出器 紫外線吸収検出器吸光光度計 (測定波長 292 nm)

カラム 内径 3~6 mm、長さ 15~25 cm のステンレス管

カラム充てん剤 5~10 μ m の液体クロマトグラフィー用シリカゲル

カラム温度 室温 (一定)

移動相 n-ヘキサン/2-プロパノールイソプロピルアルコール混液 (200:1)

流量 主ピークが約 10 分後に現れるの保持時間が約 10 分になるように調整する。

d-γ-トコフェロール、定量用 $C_{28}H_{48}O_2$ 本品は、淡黄色の粘りある粘潤な液体である。

~~含量 本品は、d-γ-トコフェロール ($C_{28}H_{48}O_2$) 98.5%以上を含む。~~

確認試験 本品約 5 mg を精密に量り、無水エタノールを加えて溶かして正確に 10 ml とする。この液 1 ml を正確に採りとり、さらに更に無水エタノールを加えて正確に 10 ml とした液の吸光度を測定するとき、波長 297 nm 付近に極大吸収部がある。

比吸光度 $E_{1\text{cm}}^{1\%}$ (297 nm 付近の極大吸収部) = 83~103

本品約 5 mg を精密に量り、無水エタノールを加えて溶かし正確に 10 ml とする。この液 1 ml を正確に採りとり、さらに更に無水エタノールを加えて正確に 10 ml とした液の吸光度を測定する。

定量法類縁物質 本品約 0.05 g (50 mg) を精密に量り、n-ヘキサンを加えて溶かして正確に 100 ml とし、検液とする。この液 1.5 ml を正確に量りヘキサンを加えて正確に 100 ml とし、比較液とする。検液及び比較液 20 μ l につき、次の操作条件

で液体クロマトグラフィーを行い、ピーク面積を測定するとき、検液の主ピーク以外のピークの合計面積は、比較液の主ピーク面積より大きくない。ただし、面積測定範囲は、主ピークの保持時間の約2倍までとする。この検液20 μ lを採りとり、次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い、主ピークの保持時間の約2倍の範囲について、ピーク面積を自動積分法により測定し、総面積に対する主ピークの面積比を計算する。

操作条件

検出器 紫外線吸収検出器吸光光度計（測定波長 292nm）

カラム 内径3～6mm，長さ15～25cmのステンレス管

カラム充てん剤 5～10 μ mの液体クロマトグラフィー用シリカゲル

カラム温度 室温（一定）

移動相 n-ヘキサン/2-プロパノールイソプロピルアルコール混液（200：1）

流量 主ピークが約11分後に現れるの保持時間が約11分になるように調整する。

d- δ -トコフェロール，定量用 C₂₇H₄₆O₂ 本品は、淡黄色の粘りある粘稠な液体である。

~~含量 本品は、d- δ -トコフェロール（C₂₇H₄₆O₂）98.5%以上を含む。~~

確認試験 本品約5mgを精密に量り、無水エタノールを加えて溶かして正確に10mlとする。この液1mlを正確に採りとり、さらに更に無水エタノールを加えて正確に10mlとした液の吸光度を測定するとき、波長298nm付近に極大吸収部がある。

比吸光度 E_{1cm}^{1%}（298nm付近の極大吸収部）=83～101

本品約5mgを精密に量り、無水エタノールを加えて溶かして正確に10mlとする。この液1mlを正確に採りとり、さらに更に無水エタノールを加えて正確に10mlとした液の吸光度を測定する。

定量法類縁物質 本品約0.05g50mgを精密に量り、n-ヘキサンを加えて溶かして正確に100mlとし、検液とする。この液1.5mlを正確に量りヘキサンを加えて正確に100mlとし、比較液とする。検液及び比較液20 μ lにつき、次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い、ピーク面積を測定するとき、検液の主ピーク以外のピークの合計面積は、比較液の主ピーク面積より大きくない。ただし、面積測定範囲は、主ピークの保持時間の約2倍までとする。この検液20 μ lを採りとり、次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い、主ピークの保持時間の約2倍の範囲について、ピーク面積を自動積分法により測定し、総面積に対する主ピークの面積比を計算する。

操作条件

検出器 紫外線吸収検出器吸光光度計（測定波長 292nm）

カラム 内径3～6mm，長さ15～25cmのステンレス管

カラム充てん剤 5～10 μ mの液体クロマトグラフ用シリカゲル

カラム温度 室温（一定）

移動相 n-ヘキサン/2-プロパノールイソプロピルアルコール混液（200：1）

流量 主ピークが約20分後に現れるの保持時間が約20分になるように調整する。

ドラーゲンドルフ試液 第1液：塩基性硝酸ビスマス0.85gを量り、酢酸10ml及び水40mlを加えて溶かす。

第2液：ヨウ化カリウム8gを量り、水20mlを加えて溶かす。

用時、第1液5ml、第2液5ml、酢酸20ml及び水100mlを混和する。

トリエタノールアミン 2,2',2''-ニトリロトリエタノールを見よ。

トリクロロ酢酸 CCl_3COOH ~~(特級)~~ [K 8667]

トリクロロ酢酸試液 無水酢酸ナトリウム18g、1 mol/Lトリクロロ酢酸溶液110ml及び酢酸19mlを約600mlの水に溶かし、1 mol/L水酸化ナトリウム溶液でpH4.0に調整した後、1,000mlとする。

トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン $\text{H}_2\text{NC}(\text{CH}_2\text{OH})_3$ 本品は、白色～淡黄色の結晶性の粉末である。

含量 本品は、トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン [$\text{H}_2\text{NC}(\text{CH}_2\text{OH})_3$] 99.0～101.0%を含む。

融点 169～173℃

定量法 本品約2gを精密に量り、水50mlを加えて溶かした後、1 mol/L塩酸滴定する。終点の確認は、通例、電位差計を用いる。

1 mol/L塩酸 1 ml = 121.14mg $\text{H}_2\text{NC}(\text{CH}_2\text{OH})_3$

2,4,6-トリニトロフェノール $(\text{NO}_2)_3\text{C}_6\text{H}_2\text{OH}$ ~~(特級)~~ [K 8759:1984]

本品は淡黄色の結晶で、においはない。徐々に熱すると昇華し、急激に熱すると爆発的に燃える。

融点 121～123℃

トリフェニルクロルメタン $(\text{C}_6\text{H}_5)_3\text{CCl}$ ~~(特級)~~ [トリアフェニルクロルメタン, K 8674:1978]

本品は白から帯灰白色もしくは類黄色の結晶又は結晶性の粉末である。

確認試験 (1)本品の飽和酢酸溶液5mlに水1mlを加えるとき、白色の沈殿を生じる。

(2)本品の飽和酢酸溶液5mlに塩酸1mlを加えるとき、黄色の沈殿を生じる。

融点 105～113℃

トリフェニルホスフィンオキシド $\text{C}_{18}\text{H}_{15}\text{OP}$

性状 本品は、極わずか褐色みを帯びた白色の粉末である。

純度試験 (1) 融点 156～158℃

(2) 溶状 淡褐色、澄明 (1g, アセトン10ml)

(3) 類縁物質 本品をデシケーター中で減圧下24時間乾燥し、その0.01gをメタノールに溶かし、正確に100mlとする。この液1mlを正確に量り、アセトニトリル/水混液(67 : 33)を加えて正確に100mlとし、検液とする。検液2mlを正確に量り、アセトニトリル/水混液(67 : 33)を加えて正確に100mlとし、比較液とする。検液及び比較液20μlにつき、「スクラロース」の純度試験のトリフェニルホスフィンオキシドの操作条件で液体クロマトグラフィーを行い、ピーク面積を測定するとき、検液の主ピーク以外のピーク

の合計面積は、比較液の主ピーク面積より大きくない。ただし、面積測定範囲は、主ピークの保持時間の2倍までとする。

トリフルオロ酢酸 CF_3COOH 本品は、無色透明の液体で、水に極めて溶けやすく、刺激性のにおいがある。

含量 本品は、トリフルオロ酢酸 (CF_3COOH) 99.0%以上を含む。

確認試験 (1) 本品は、酸性である。

(2) 本品を赤外吸収スペクトル測定法中の液膜法により測定するとき、波長 $3,180\text{cm}^{-1}$, $1,785\text{cm}^{-1}$, $1,458\text{cm}^{-1}$, $1,170\text{cm}^{-1}$, 811cm^{-1} 及び 687cm^{-1} 付近に吸収帯を認める。

純度試験 不揮発物 0.02%以下

本品10.0gを量り、蒸発した後、 100°C で2時間乾燥後、デシケーター中で約30分間放冷した後、その残留物の重量質量を量る。

定量法 本品約3gを精密に量り、水30mlを加えて1mol/L水酸化ナトリウム溶液で滴定する。(指示薬 フェノールフタレイン試液)

1mol/L水酸化ナトリウム溶液 1ml = 114.0mg CF_3COOH

2,2,4-トリメチルペンタン $(\text{CH}_3)_2\text{CH}(\text{CH}_2)_4\text{CH}_3$ 無色の液で、水にほとんど溶けない。クロロホルム又はジエチルエーテルと混和する。

純度試験 本品につき、水を対照とし、紫外可視吸光度測定法により試験を行うとき、波長230nm, 250nm及び280nmにおける吸光度は、それぞれ0.050, 0.010及び0.005以下である。

トルエン $\text{C}_6\text{H}_5\text{CH}_3$ ~~(特級)~~ [K 8680]

o-トルエンスルホンアミド $\text{C}_7\text{H}_9\text{NO}_2\text{S}$ 本品は、無色の結晶又は白色の結晶性の粉末である。

融点 $157\sim 160^\circ\text{C}$

純度試験 ペラトルエンスルホンアミド 本品の酢酸エチル溶液(1→5,000)につき、成分規格・保存基準各条の項のサッカリンナトリウム中の純度試験(6)に規定する操作条件でガスクロマトグラフィーを行うとき、オルトルエンスルホンアミドのピーク以外を認めない。

p-トルエンスルホンクロロアミドナトリウム3水和物 $\text{C}_7\text{H}_7\text{ClNaO}_2\text{S} \cdot 3\text{H}_2\text{O}$ [p-トルエンスルホンクロロアミドナトリウム三水和物, K 8318]

七モリブデン酸六アンモニウム4水和物 $(\text{NH}_4)_6\text{Mo}_7\text{O}_{24} \cdot 4\text{H}_2\text{O}$ [七モリブデン酸六アンモニウム四水和物, K 8905]

ナフタレン C_{10}H_8 ~~(特級)~~ [K 8690:1976]

本品は無色の葉状又は棒状の結晶で、特異なにおいがある。常温で徐々に揮散し、点火すると煤の多い炎をあげて燃える。

凝固点 79.5°C 以上

α -ナフチルアミン 1-ナフチルアミンを見よ。

1-ナフチルアミン $\text{C}_{10}\text{H}_9\text{N}$ [K 8692]

N-1-ナフチルエチレンジアミン二塩酸塩 $\text{C}_{12}\text{H}_{14}\text{N}_2 \cdot 2\text{HCl}$ ~~(特級)~~ [K 8197]

溶液は、用時調製する。